

これならわかる問題と解説（5訂版）正誤表（平成27年5月18日発行）

平成27年8月6日現在

No.	頁	訂正箇所	誤	正
1	60	問題4-24-④ 2行目	この給湯器は	この給湯機は
2	71	解説と解答4-9 1行目	金属管に起こりやすい熱水による浸食もないので	金属管に起こりやすい浸食もないので
3	108	問題5-1 答え②、③のイ	給水契約の否定	給水契約の拒否
4	115	問題5-23 設問文	給水装置の逆流防止性能基準	給水装置の逆流防止性能基準
5	123	問題5-51 答えの選択肢 ②、④のイ	耐流水等	滞留水等
6	124	問題5-56 ④	電気ヒータ熱源として	電気ヒータを熱源として
7	130	解答と解説5-17 1行目	止水栓を給に閉止した	止水栓を急に閉止した
8	130	解答と解説5-17 3行目	2 毎秒	2メートル毎秒
9	135	解説と解答5-32 ①	①は耐圧性能基準の目的である	①は耐久性能基準の目的である
10	143	解説と解答5-47 ②のイ	施工令として以下のようなものがある	施工例として以下のようなものがある
11	148	問題6-4	出題ミス	(①～④の設問は、いずれも正しい記述である)
12	150	問題6-11 ③	路面との距離を1.2mを超えないよう 確保しなければならない	路面との距離を1.2mを超えているよう 確保しなければならない
13	150	問題6-13 ②	配管された配水管の露出部分は	配管された給水管の露出部分は
14	161	解説と解答6-3 ④	明治テープ	明示テープ
15	162	解説と解答6-4	②	正解なし (①～④は、いずれも正しい記述である)
16	164	解説と解答6-11 2～3行目	距離は1.2m（やむを得ない場合にあつては、 0.6m）以下としないこと	距離は1.2m（やむを得ない場合にあつては、 0.6m）を超えていること
17	164	解説と解答6-11 14行目後半	水道配水用ポリエチレン管は200mm以下とされ、 その使用にあたっては	水道配水用ポリエチレン管は200mm以下とされ、 <u>これらと同等以上の強度を有するものは、ここで の管径を超えない範囲内において対象となり、</u> その使用にあたっては
18	165	解説と解答6-13 ②2行目	損傷を受けやすいので、管をクリップ等のつかみ 金具を使用し、1～2mの間隔で建物に固定する	損傷を受けやすいので、クリップ等のつかみ金具 を使用し、管を1～2mの間隔で建物に固定す る

19	167	解説と解答6-16 ①3行目	道路掘削・占用許可書、所轄警察署長 道路使用許可書を取得する	道路掘削・占用許可書を取得し、所轄警察署長 から道路使用許可書を取得する
20	167	解説と解答6-16 ②3行目	道路管理者が支持する場合を除き	道路管理者が指示する場合を除き
21	176	解説と解答6-35 ④6行目後半	適合品が使用されていること等、さらに、 通水して各給水用具から・・・給水 用具の吐水量・作動状態を確認する	適合品が使用されていること、さらに、 通水して各給水用具から・・・給水 用具の吐水量・作動状態等を確認する
22	182	問題7-3 1行目	施行計画書の作成	施工計画書の作成
23	182	問題7-3 ③	施行計画書は、緊急時も含め	施工計画書は、緊急時も含め
24	185	問題7-14 ②3行目	歩行者の通交を規制しながら	歩行者の通行を規制しながら
25	185	問題7-15 ③	掘削深さが1.5m未満であっても	掘削深さが1.5m以内であっても
26	186	問題7-16 ②	施工計画、施工図を作成して	施工計画書、施工図を作成して
27	224	問題8-31 ②混合水栓		
28	254	問題9-4 ②、④のウ	調査、計画、施行、検査	調査、計画、施工、検査
29	256	問題9-9 ③	関係する水道事業者の供給規定、関係法令等を	関係する水道事業者の供給規程、関係法令等を
30	302	別表第2 右側マス内1行目	越流面から吐水口の中心までの垂直距離	越流面から吐水口の最下端までの垂直距離